

これからの学びを支える教育ICT環境

～学びの深化、学びの転換、子ども一人一人の夢実現に活かす～

今後の教育は、変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成することが必要となります。子どもや学校などの実態に応じ、各教科の特質や学習過程を踏まえて、資質・能力の3つの柱（①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、③学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力・人間性」の育成）をバランスよく育成していくこと必要だと文部科学省が提唱しております。現在、児童生徒1人1台のタブレット端末が整備され、変化の激しい時代に生きる子どもたちの未来に責任が持てる教育を提供するため、教育ICT環境の将来について考える時間を設けさせていただきました。一緒に子どもたちの未来を考える時間となれば幸いです。



日時

2021年8月20日(金) 13:30 - 16:15

主催

株式会社NS・コンピュータサービス

後援

長岡市教育委員会

定員

会場：40名 オンライン：80名

会場

アトリウム長岡（新潟県教職員互助会館）

※オンラインでの参加も可能です。

「GIGAスクール構想が目指す新しい『学び』の姿を描く」

GIGAスクール構想を推進するとは、新しい学習指導要領が整理した資質・能力を子どもたちに確かに育む、ということ。特に「学びに向かう力」の育成は、子供たちがSociety5.0の社会をしなやかに生きるための重要な教育課題。

「振り返り」を活かした授業実践等を紹介します。

合同会社MAZDA Incredible Lab CEO 松田 孝

「タブレット端末を活用した『学校でしかできない学習活動』を目指して」

2年生の生活科「いこうよ！ミラクルランド」、5年生の学校行事「海の学校」に向けた取組を中心に、タブレット端末を活用した「学校でしかできない学習活動」を目指した一実践を紹介いたします。思考の可視化や相互作用、発表や振り返りを行う実際の子どもたちの姿をご覧ください。

長岡市立表町小学校 教諭 水谷 徹平

「MEXCBTを見据えた教育プラットフォーム環境の整備」

文科省は子どもたちの学びの保障の観点から、緊急時でもPCを使ってオンラインで学習ができる「MEXCBT（メクビット）」の全国展開を目指しています。学力調査、デジタル教科書・教材の活用、さらには様々な学習や指導のデータを活用した新しい学びの姿をご紹介します。 日本電気株式会社 第一官公ソリューション事業部 シニアマネージャー 田畑 太嗣